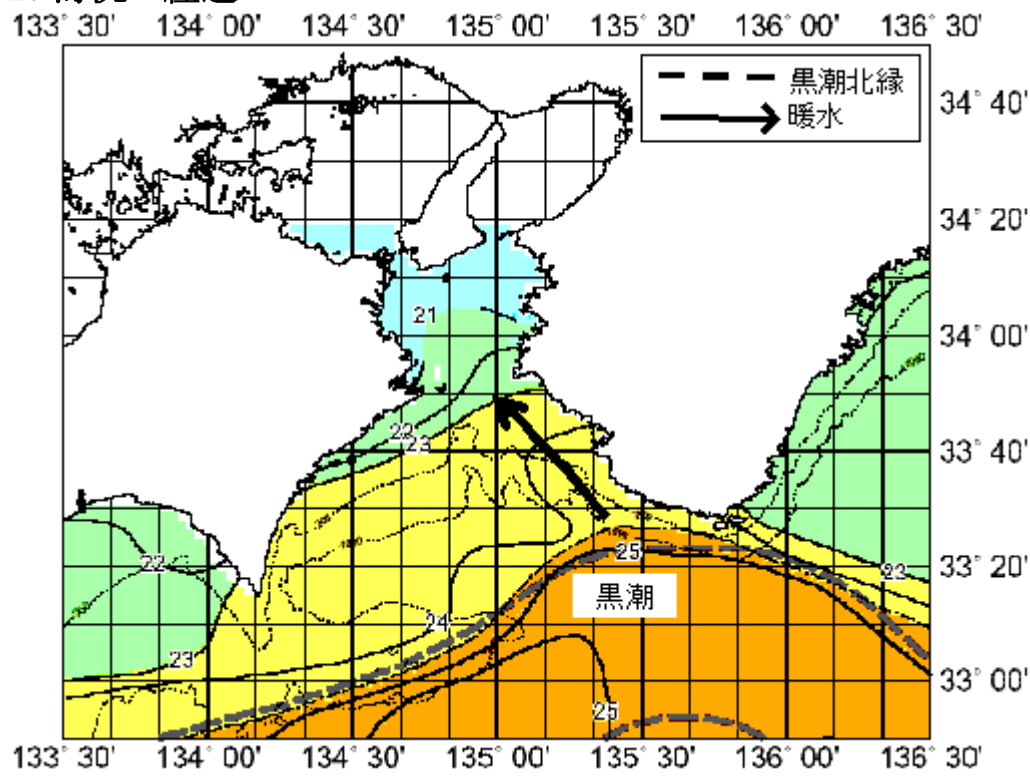


1. 海況の経過



海況 上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.11.10)を示した。

潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は25℃台である。

表面水温は播磨灘が20～21℃台、紀伊水道内部が20～22℃台、外域が21～23℃台である。

紀伊水道内部は、和歌山県側から、弱い黒潮系暖水の波及が続いている。

紀伊水道外域は、先週に引き続き、和歌山県側から反時計回りに暖水が波及し、海部沿岸では、内海系水が南下している。

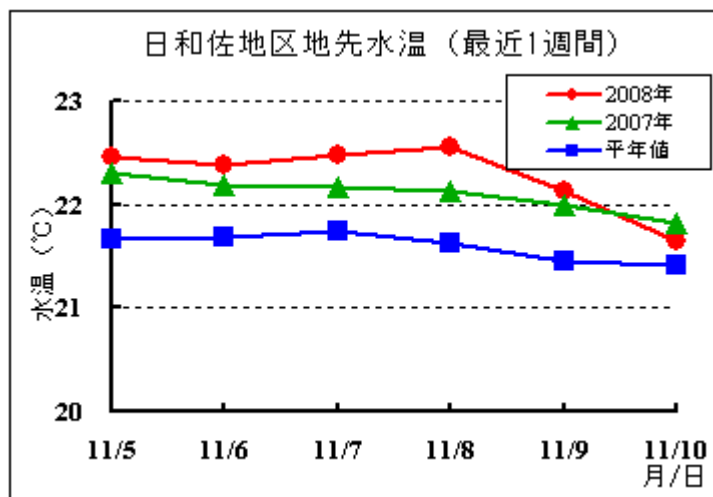
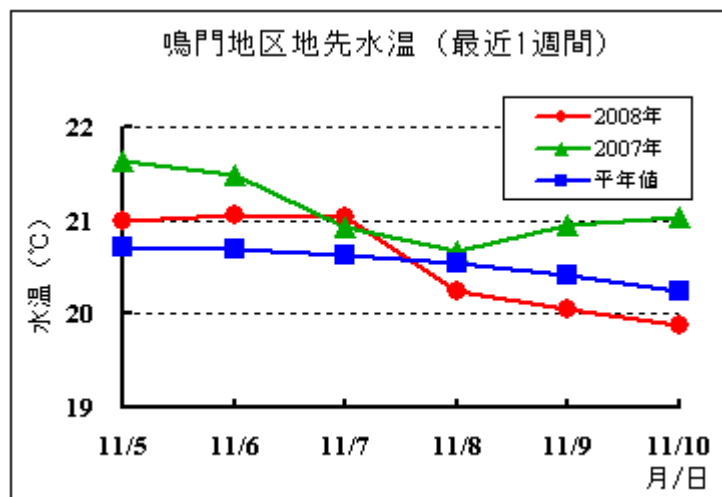
漁業調査船「とくしま」が11月7日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は全層とも「やや高め」の21.5～21.6℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2008/11/07)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	21.6	21.6	21.5	21.5	今年値	32.7	32.7	32.7	32.8
平年偏差	0.7	0.8	0.7	0.6	平年偏差	0.8	0.7	0.7	0.6
前年偏差	-0.2	-0.1	-0.1	-0.1	前年偏差	0.0	0.1	0.1	0.1

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の19.9～21.1℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の21.6～22.6℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の21.0～23.5℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

**すくい網:**海部沿岸で、ウスバハギが0.4トン(1日1隻あたり47kg)水揚げされた。

**延縄:**海部沿岸で、カワハギが0.3トン(同52kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、アオリイカが0.3トン(同5kg)、小主体にタチウオが1.5トン(同62kg)、小主体にマルアジが0.4トン(同15kg)、マルソウダが0.3トン(同9kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、大・中主体にアオリイカが0.5トン(同7kg)、ハマチが0.2トン(同8kg)、紀伊水道で、大・中主体にサワラが0.3トン(同12kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが6.4トン(同100kg)水揚げされた。

漁業種別漁獲量集計表(抜粋) 11月03日～11月09日 県下4漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
すくい網	海部沿岸	ウスバハギ	9	422	47		
延縄		カワハギ	5	259	52		
小型定置網		アオリイカ	69	315	5		
		タチウオ	24	1,477	62	小主体	
		マルアジ	26	390	15	小主体	
		マルソウダ	30	260	9		
釣り		アオリイカ	74	492	7	大・中主体	
		ハマチ	26	213	8		
		紀伊水道	サワラ	29	341	12	大・中主体
パッチ網			シラス	64	6,400	100	

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬は接岸からやや離岸、潮岬は接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の19℃台、日和佐地先で「やや高め」の21～22℃台で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県のひき縄でカツオが0.6トン(1日1隻あたり4.7kg)、釣りでスルメイカが1.4トン(同5.9kg)、タチウオが1.4トン(同5.5kg)、イサキが1.1トン(同4.6kg)、パッチ網でシラスが6.0トン(同108kg)水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上